

【研究シーズテーマ】

演劇とアダプテーション

 情報学部 情報コミュニケーション学科 准教授 **住田 光子**

Keyword
シェイクスピアと現代演劇／舞台演出／映像表象


【研究シーズの概要】

文字と映像をもとに、劇のなかにもともとある要素と、アダプテーション(翻案)のなかに付け加えられたものの差異を研究しています。例えば、舞台上演では、演出家の解釈や、その時代の観客の趣向が、つくられた作品に作用しています。現代芸術が既存のものなくしては成り立たないなかで、現代では、演劇を隠れ蓑に語ろうとする時代とは「書き換える意味」が異なっています。現代の人々が国境を越えてシェイクスピアを通して何を発信しようとしているのか、また西洋演劇がいかに進化し続けるのかを、舞台上演、劇作家、演出家、観客、戯曲、上演のデジタル映像を通して研究しています。



【イギリスの戯曲】

トム・ストッパード作『ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ』。シェイクスピアの『ハムレット』がもとになっている。



【ロンドンの劇場】

左記の演劇が上演されたオールド・ヴィック・シアター

【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 文字と映像を通して、西洋演劇の現代の上演を考察します。
- さまざまな演劇を通して、描かれている社会と人々のつながりを考えます。
- 私たちのコミュニティに対する演劇の波及効果を考えていきます。

【産業界での展開・用途】

- 異文化コミュニケーション
- 演劇研究を通して、論理的思考力・豊かな感性をもつエンジニアの育成に貢献

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp